

別紙（中間評価書）

平成 30 年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	9	事業区分：劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業 助成対象団体名：公益財団法人愛知県文化振興事業団 施設名：愛知県芸術劇場
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>愛知県が策定した「愛知県文化振興条例」及び「あいち文化芸術振興計画 2022」を踏まえた愛知県芸術劇場のミッション、ビジョンと事業計画の整合性については明確で、これらの達成に向けて事業が適正に組み立てられていると認められる。</p> <p>また、国内外に芸術文化を創造・発信する劇場としてダンス・コンサートや、2つのフェスティバル、ミニセレ（ミニシアターセレクション）を実施し、あらゆる人々が芸術文化を享受できる社会基盤の構築を目指すなど、地域の特性から導き出した対象者や地域のニーズが基になっており、助成に値する文化的、社会的意義等が認められる。</p> <p>（有効性）</p> <p>一部に当初予定していた実施回数に満たなかった活動があるものの、目標の達成に向けて、事業が着実に推移していると概ね認められ、アウトカム発現の可能性に期待が持てる。</p> <p>（効率性）</p> <p>事業はほぼ計画通り実施されており、事業期間は適切であったと認められる。</p> <p>一方、事業費については、概ね適切であったと認められるものの、相当数の活動において、要望時の予算額と報告時の実績額との間で乖離を生じており、今後、より実効性のある予算積算と適切な予算管理が望まれる。</p> <p>（創造性）</p> <p>2つのフェスティバル（「ファミリー・プログラム」、「愛知芸文フェス」）と、小ホールで実験的・先駆的な取り組みを行う「ミニセレ」、の3つを柱に据えることで事業の全体像を際立たせ、秋に改修工事を終えたコンサートホールで、日本最大級のオルガンを活用した事業、世界最高峰のダンサーによる公演のプロデュースなど、意欲的な事業を展開した。</p> <p>「ファミリー・プログラム」の一つ、オーストラリアで制作されたライブアニメーションや生演奏を取り入れた家族向けの作品「小さな島とエヴァ」は、地元俳優を起用した日本版として県内8カ所12回の巡回公演を行い、幅広い層に舞台芸術鑑賞の場を提供しつつ、海外カンパニーとの共同作業を通じて市町村劇場とのノウハウ共有も図ることができ、新規性・先導性が認められる。</p> <p>「愛知芸文フェス」は、現代的なフラメンコの中でも最高峰に位置するイスラエ</p>		

別紙（中間評価書）

ル・ガルバンの『黄金時代』をはじめ、秋の2ヶ月間にわたり国内外の質の高い実演芸術などを提供した。また、関連ワークショップ、プレ・アフターイベント、バリアフリーの対応など、聴衆の拡大や育成にも工夫をこらしており、独創性、新規性が認められる。

「ミニセレシリーズ」は、自由度の高い小ホール空間を活用し、1年を通して実験的・先鋭的な作品に挑むもので、ダンスとラップを融合させた「島地保武×環ROY『ありか』」により、コンテンポラリーダンスの上演機会に恵まれない地域の状況に一石を投じるなど、意欲的な実演芸術の創造活動を展開しており、独創性、先導性が認められる。

その他に、大きな注目を集めた「ダンス・コンサート」（「マニユエル・ルグリ Stars in Blue～Ballet & Music～」）は、劇場プロデュースであり、一流の舞台公演として企画・内容ともに高く評価でき、独創性、新規性、先導性が認められる。

さらには、職員自らが講師として参加し述べ700名以上の参加を得た「劇場職員セミナー」や、新たに設けた「舞台芸術ワークショップのファシリテーター&コーディネーター人材養成講座」によって人材養成に積極的に取り組んでおり、新規性、先導性が認められる。

平成30年度は大ホール（通年）、コンサートホール（11月まで）が改修工事で休館という制約があったが、実施した事業のうち、半数以上において、入場者・参加者数の目標を達成した。また、プロデュース公演をはじめ、県内外の劇場と連携して巡回公演を行うなど、地域における鑑賞機会の格差解消にも取り組み、幅広い層に実演芸術鑑賞の場を提供しており、拠点劇場として発信力の強化に努めた。以上ことから、国内外での評価の向上につながっていると認められる。

なお、2020年から勅使川原三郎を芸術監督に迎えるが、創造する劇場として、国際プレゼンスの更なる向上が期待できる。

（持続性）

組織面では、安定的に適正な人員の正規職員を確保しており、専門的な人材育成に努めている。

財務面では、県との密接な関係を基礎とした安定的な財務基盤の確保がなされている。

以上ことから、組織活動が持続的に発展し、アウトカムの発現・定着が期待できると認められる。

（総 評）

愛知県芸術劇場の事業計画「劇場による地域文化向上プロジェクト」は、妥当性、有効性、効率性、創造性、持続性において適切に進められていると概ね認められる。

今後も愛知県芸術劇場が持つ人的ネットワークや指向性、総合的な企画立案力といった自らの強み特色を活かし、戦略的な事業展開に期待したい。

別紙（中間評価書）

中間評価結果

（可否のいずれかに○を附す）

継続

可

否